

学校名 上尾市立上平小学校
所在地 上尾市大字南102
電話 048-771-1751

1 本校の概要

本校は、明治6年に創立され、147周年を迎えた。学級数18学級、児童数498名の中規模校である。学校教育目標を「心豊かで強い意志を持ち、自ら学ぶ健康でたくましい子」とし、「①進んで学ぶ子②思いやりのある子③責任を果たす子④たくましい子」の育成を目指している。

2 本校の実践

(1) 児童自ら運営に関わる学校図書館

毎週行っている読み聞かせでは、児童図書委員会が運営に関わり、低学年児童への案内をしたり、場を整えたり、スタンプカードの管理をしたりしている。

また、クラスに設置している学級文庫の整備もっており、状態の悪いものを見付けたり、冊数のチェックを行ったりしている。毎日輪番で行っているカウンター業務も手際よく行い、その合間には日本十進分類法に則って、本棚を整えることができる。本好きの児童たちによって居心地の良い図書館が作り出されている。

さらに、忙しくてなかなか来館できない高学年のために、クラスごとの団体ミニ貸出を行っている。児童図書委員会のタイミングだけでなく、内容を入れ替えるために、自分達で時間を見付けて選書しに来ているクラスもあり、意欲の高さが感じられる活動である。

(2) 本に親しみ、味わうための取組

上平小学校図書館では、毎年折々に多様なイベントを企画し、好評を得ている。

印象に残った言葉や、励まされた言葉を書き出す「すてきな言葉」の取組は、3年間続けることができ、オリジナル言葉集を作ることができた。

令和元年から行っている「読書ビンゴ」では、低学年にもその内容が周知され、本には番号がついていることや、番号によって内容が決まっていること、しまし棚が割り振られていることなどを理解させることができた。そのため、低学年にはなじみのない本にも触れる機会が多くなり、読書の幅を広げることができた。

令和元年度に実施した「とっても短い〇〇さんへの手紙」を踏まえ、令和2年度は「54字の物語」作りを行った。あっと驚くような結末になるように工夫した児童も多かった。

また、「本の福袋」も3年目となり、取組が大変スムーズで、児童図書委員が意欲的に選書する姿が見られた。改めて、続けることの大切さと、本校の児童に力がついてきていることを実感した。



(3) ワクワク楽しい図書館を目指して

廊下にある「ネイチャーコーナー」に誘われて来館する子。かわいらしい掲示物やその雰囲気によって癒やされてくる子。知的好奇心を満たしたい子。様々な理由で来ている児童を本へと誘うために、配架のしかたにも工夫を凝らしている。新着本や人気のある本、教科書に取り上げられている本、こわい本やミステリーなど、関連付けて別置きし、読みたい本を見付けやすくしている。さらに、おすすめしたい本には、特製のポップをつけて、手を伸ばしたくなるようにした。とても好評で、本がより動くようになってきた。

3年目になる新聞掲示は、ディベート形式で呟きを掲示できるようにした。読むだけでなく、児童が考えを深めたり広げたりするきっかけになればと願う。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

コロナ禍でも環境を整え、例年並みに読書の取組を行い、利用しやすい図書館にすることができた。

(2) 課題

人気の本に貸出が集中することがあるため、児童には、幅広い読書を勧めていきたい。

(3) おわりに

司書教諭・学校図書館支援員を中心とし全教職員で連携し、今後も魅力ある読書活動を推進していきたい。